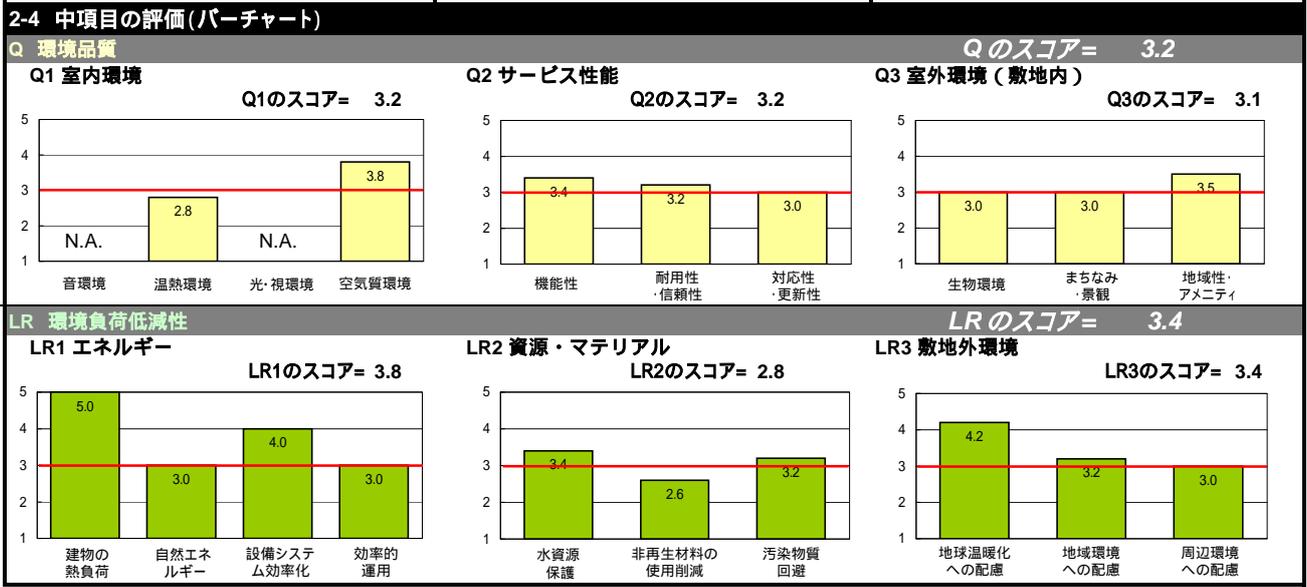
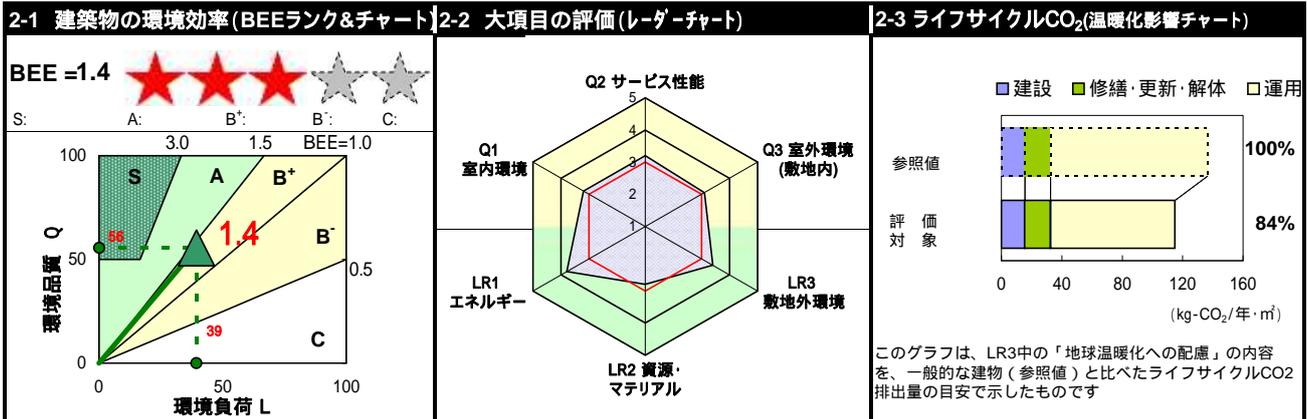


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フィットネス&SPA ココカラ学堂	階数	地上4F
建設地	藤沢市辻堂神台一丁目4番	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	400人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,121時間/年
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2010年11月1日
敷地面積	4,901 m ²	作成者	(株)構想建築設計研究所
建築面積	2,146 m ²	確認日	2010年11月5日
延床面積	6,748 m ²	確認者	(株)構想建築設計研究所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地内は、緑化をおこない周辺に配慮した計画としている。 室内環境は、利用者の快適性および効率的な施設運用に配慮した計画としている。	0
Q1 室内環境 館内の内装材は全面的に、Fを使用している。 建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍程度としている。 建物内は、禁煙としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地や空地を設けている。
LR1 エネルギー LOW-eガラス等を使用し熱負荷の抑制を図る。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加え、節水型器具や静音水頭を用いている。 ハロン消化剤を一切使用していない。
Q2 サービス性能 内装コンセプトによる仕上材、照明計画をしている。 維持管理に配慮し、汚れにくい材料等を使用している。 各用途別に材質等を考慮し長寿命化を図っている。 井水利用や、節水型器具を計画している。	LR3 敷地外環境 CO2排出量の低減を図っている。 高効率型温水器を設置し大気汚染防止の向上を図る。 適切な台数の駐輪場、駐車場を設けている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたし